

災害に対する準備はできていますか

「忘れたところにやってくる」といわれている災害。実際に災害が起こったときは、だれもが動揺してしまいがちです。

災害による被害を最小限にできるかどうかは、日ごろの備えとともに、その瞬間にどれだけ適切な行動を取れるかにかかっています。

日ごろから、災害が発生した場合のことを考え、ご家庭での備えや避難の方法などを確認しておきましょう。

風雨の対策

台風や低気圧による大雨や強風は、過去に何度も私たちに大きな被害をもたらしています。

自分の家では被害がなかったからと油断せず、家庭の中でも日ごろから十分な対応や対策を立て

ておきましょう。

屋根のチェック

トタンのめくれ、はがれはないか。

テレビアンテナの支線にゆるみや、留め金のくさりはないか。

ベランダ

鉢植えや物干しなど、とびちる危険があるものは家の中へ。

地震の対策

窓ガラス
ひび割れや窓枠がゆるんでいないか。



台風や低気圧は、いつごろ自分が住んでいる地域に近づいてくるか、天気予報に注意することで、ある程度予想することができま。しかし、地震だけはそうはいきません。突然くる揺れは予想が



昭和55年の大雨災害（若山町）

きません。日ごろの家庭での備えがとて大切です。

寝室、子供やお年寄りの部屋にはなるべく家具を置かない

寝ているときに地震に襲われると、タンスなどが倒れてきて

大変危険です。特に、子どもやお年寄りには逃げ遅れる可能性があります。

家具の転倒や落下を防ぐ
家具と壁の間にすきまがある

と倒れやすくなります。家具の前側の下に小さな板などを差し

込んで壁によりかかるとよいし

ます。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全にしま

しょう。